



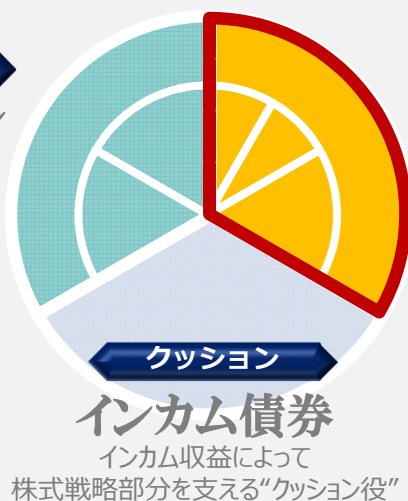
## グローバル・メガピース

### 成長余地の大きい“伸び盛り”企業を厳選 「アーリー・ステージ株式」

「グローバル・メガピース」は、3つのテーマに基づき、6つの投資戦略<sup>(注)</sup>に着目し、社会の構造変化（メガトレンド）を捉え、資産の成長をめざす運用を行なっています。  
本資料では、数回にわたり、各テーマの着眼点ならびに各投資戦略をご紹介します。

### 「グローバル・メガピース」を支える3つのテーマ

**技術革新**  
イノベーション  
株式  
中長期の成長テーマに関連する企業



**伸び盛り**  
アーリー・  
ステージ株式  
業種を問わず  
投資魅力の高い企業

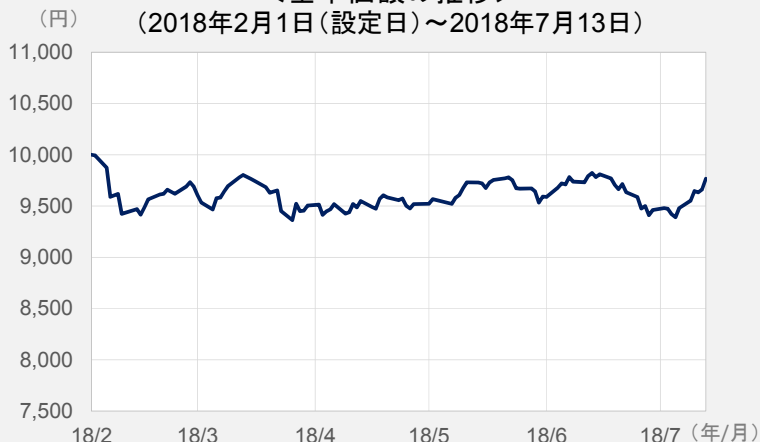
「グローバル・メガピース」は、  
3つのテーマと6つの投資戦略<sup>(注)</sup>  
で構成されています。

**クッション**  
インカム債券  
インカム収益によって  
株式戦略部分を支える“クッション役”

(注) 投資戦略の数は、資料作成日現在

#### ＜基準価額の推移＞

(2018年2月1日(設定日)～2018年7月13日)



2018年7月13日現在

**基準価額 9,766円**

**純資産総額 252億円**

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ご参考：当ファンドの運用状況

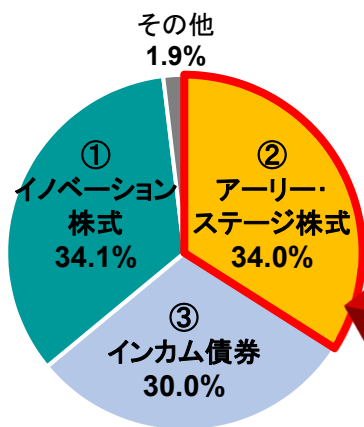
足元の基準価額は、「USグローイング・ベンチャー戦略」「グローバル・フィンテック戦略」の力強い上昇が貢献したほか、「グローバル・インカム戦略」が基準価額の変動抑制効果につながり、安定的な推移を続けました。

＜各戦略と当ファンドのパフォーマンス＞  
(2018年2月1日～2018年7月13日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
※各戦略のパフォーマンスは、投資対象である投資信託証券における税引前分配金再投資ベースの基準価額です。

### ポートフォリオの状況 (2018年6月末現在)



※資産構成比率は当ファンドの純資産総額比です。

#### ＜ポートフォリオの内訳＞

＜比率＞

①イノベーション株式	34.1%
グローバル・ロボティクス戦略	16.9%
グローバル・フィンテック戦略	17.2%
②アーリー・ステージ株式	34.0%
先進国	
ジャパン・グローイング・ベンチャー戦略	8.7%
USグローイング・ベンチャー戦略	8.7%
新興国	
新興国リード・ストック戦略	16.7%
③インカム債券	30.0%
グローバル・インカム戦略	30.0%
その他	1.9%

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

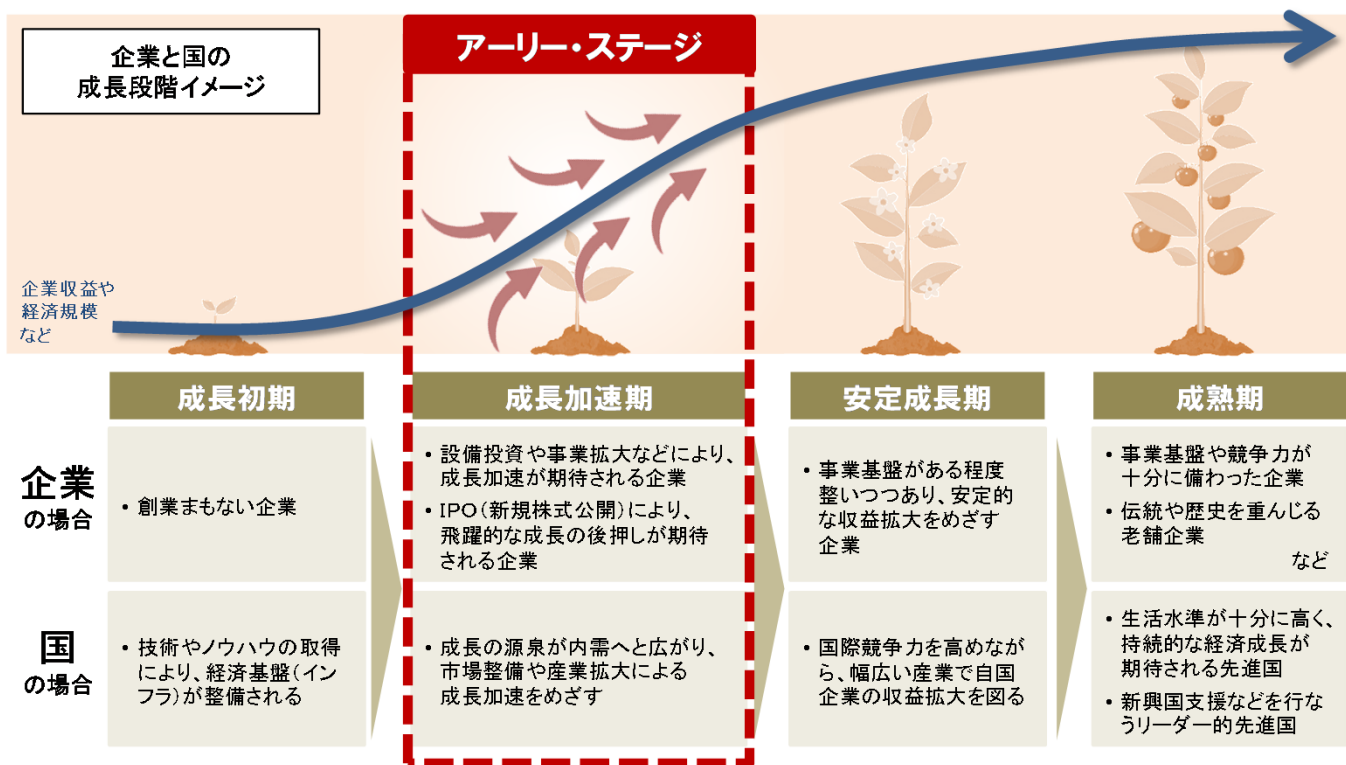


テーマ

アーリー・ステージ株式

# 成長の初期段階に着目した投資テーマ 「アーリー・ステージ株式」

国や企業が次の成長段階に進む過程において、資金調達機会や経営ノウハウ、ブランド力を手にすることで大きな飛躍が期待できます。「アーリー・ステージ株式」では、これからの成長が期待できる“伸び盛り”の企業に着目し、投資を行ないます。



※上図はイメージであり実際とは異なる場合があります。各ステージの呼称および分類は、各種資料を基に、日興アセットマネジメントの判断により作成しています。

アーリー・ステージ  
「成長余地」という観点から、2つの投資戦略に着目

## Early Stage

先進国

IPOにより成長が期待される若い企業を業種を問わず選定

**グローイング・ベンチャー  
戦略**



新興国

活力ある新興国で成長が期待される企業を選定

**新興国リード・ストック  
戦略**

●上記の投資戦略は資料作成時点のものであり、今後変更される場合があります。



グローイング・ベンチャー戦略

# IPOに着目して成長企業を選定 「グローイング・ベンチャー戦略」

- 「グローイング・ベンチャー戦略」では、日米のIPO後まもない企業に着目します。
- IPO（新規株式公開）は、それまで限定的だった資金調達力の著しい拡大や、信用力・知名度の向上につながることから、企業の成長ステージにおける最重要イベントの一つとされています。そこで当戦略では、主として日米で公開後5年以内の企業の株式を中心に、投資を行ないます。

## 先進国株式市場でのIPOにより、成長が期待される企業を厳選

### IPO

Initial Public Offering  
(新規株式公開)

未上場企業が証券取引所に株式を上場させ、一般投資家などから株式投資を募り、資金調達を行なうこと。

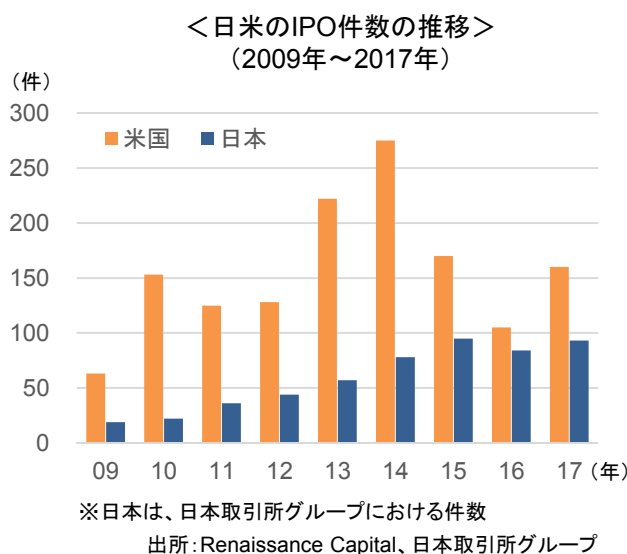
<IPOを行なう企業のメリット>

設備投資や研究開発などの  
**機会拡大**

M&Aなどの  
**積極化**

信用力や知名度の  
**向上**

IPO後まもない企業は、  
**飛躍的な成長が期待**される魅力的な投資対象と考えられます



### 【ご参考】日米の代表的なIPO企業

日本	上場年	米国
LINE(情報・通信、7月) 九州旅客鉄道(陸運業、10月)	2016年	USフーズ・ホールディング (食品・生活必需品小売、5月) LINE(ソフトウェア・サービス、7月)
スシローグローバルホールディングス(小売業・3月) SGホールディングス(陸運業、12月)	2017年	スナップ(ソフトウェア・サービス、3月) アルティスUSA(メディア、6月)
メルカリ(情報・通信業、6月) MTG(その他製品、7月)	2018年	ドロップボックス(ソフトウェア・サービス、3月) アクサ・エQUITABLE・ホールディングス(各種金融、5月)

・カッコ内は業種、上場月。日本の業種は東証33業種、米国の業種は世界産業分類基準(GICS)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



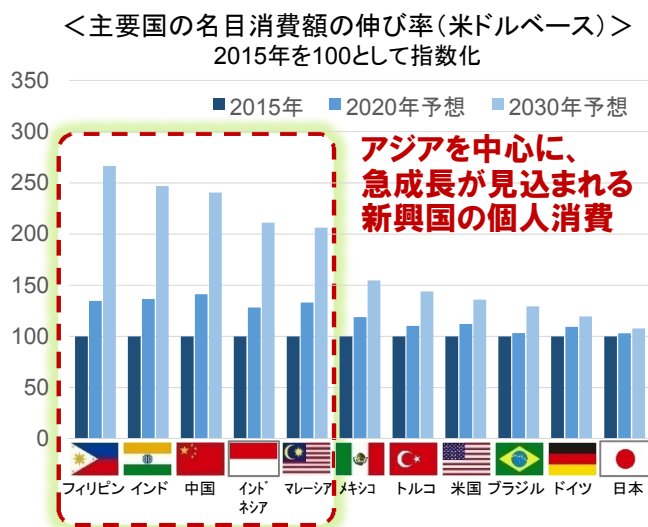
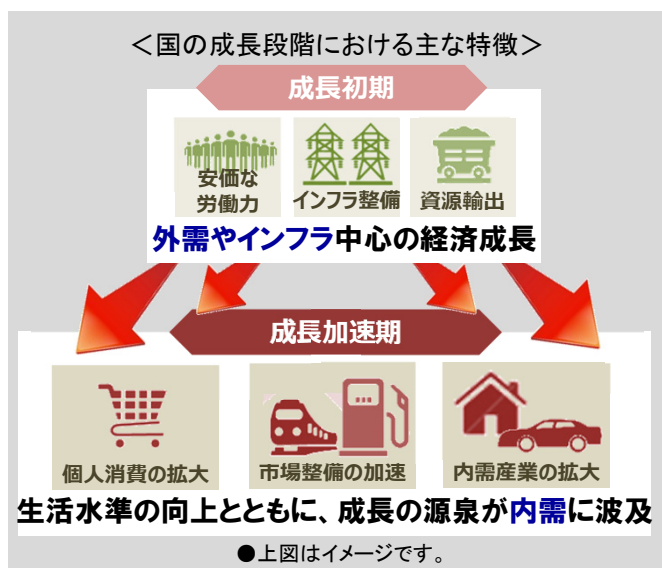
新興国リード・  
ストック戦略

# 成長加速期にある新興国の伸び盛り企業 「新興国リード・ストック戦略」

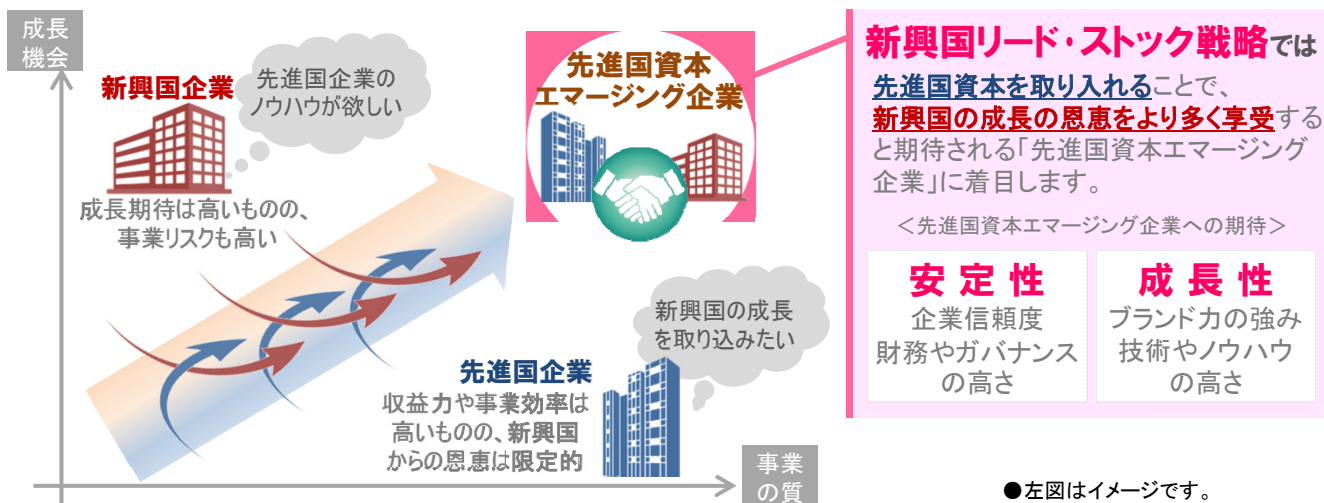


- 「新興国リード・ストック戦略」では、先進国資本という観点から新興国企業に着目します。
- 国の経済成長が進むにつれ、人々の生活水準の向上とともに、成長の源泉が内需へと拡がり、企業においては、幅広い産業で業績拡大期待が高まります。その際、企業が先進国資本を取り入れ、技術やノウハウを習得することで、収益拡大や競争力向上により、経済成長の恩恵の享受が期待されます。

## 成長加速期に、内需拡大とともに飛躍的な成長が期待される新興国



### 内需拡大の恩恵を期待し、「先進国資本」という観点で銘柄選定



※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

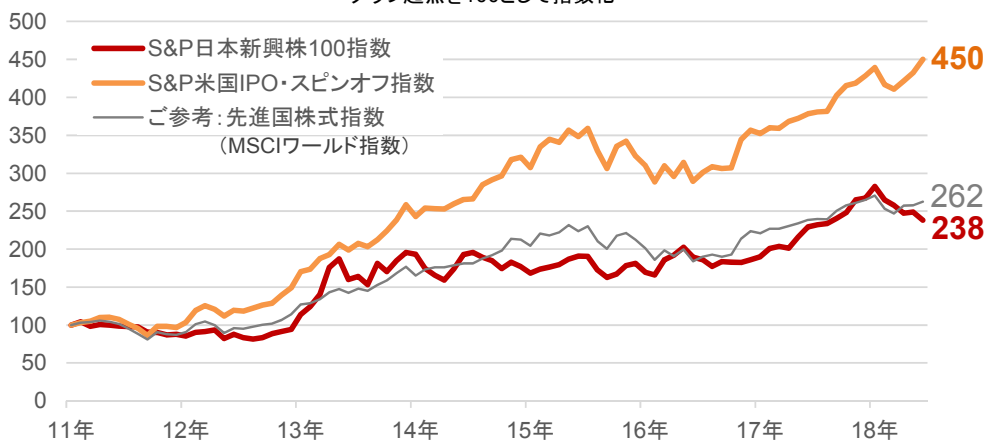


グローイング・ベンチャー戦略

## ご参考

### グローイング・ベンチャー戦略の参考パフォーマンス

＜参考指数の推移＞  
(2011年1月末～2018年6月末)  
グラフ起点を100として指数化



■上記指数はあくまで参考であり、当ファンドならびに当ファンドが投資する各投資信託証券のベンチマークではありません。  
※株価指数は、いずれも配当込みです(S&P日本新興株100指数を除く)。また、米ドルベースの指数については、日興アセットマネジメントが円換算しています。  
■S&P米国IPO・スピンオフ指数: 時価総額10億米ドル以上の米企業のうち、原則として過去5年以内に、IPOもしくは親会社からのスピンオフ(分離・独立)を行なった銘柄で構成された指数です。



日本

#### 代表銘柄のご紹介

米国



#### ティーケーピー

(不動産業)

場所だけでなく、サービスも提供する貸し会議室大手  
＜2017年3月上場＞



#### メニコン

(精密機器)

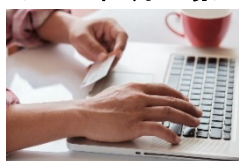
コンタクトレンズの開発・製造から販売までを手がける国内大手  
＜2015年6月上場＞



#### ペイパル・ホールディングス

(情報技術)

世界で2億人以上が利用するオンライン決済サービスの先駆的存在  
＜2015年7月上場＞



#### ヒルトン・ワールドワイド・ホールディングス

(一般消費財・サービス)

複数ブランドでホテルやリゾート施設を世界各地に展開  
＜2013年12月上場＞



●写真はイメージです。

※ 2018年6月末時点における「グローバル・ベンチャー・マザーファンド」ならびに「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」の組入上位10銘柄よりご紹介しています。  
※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



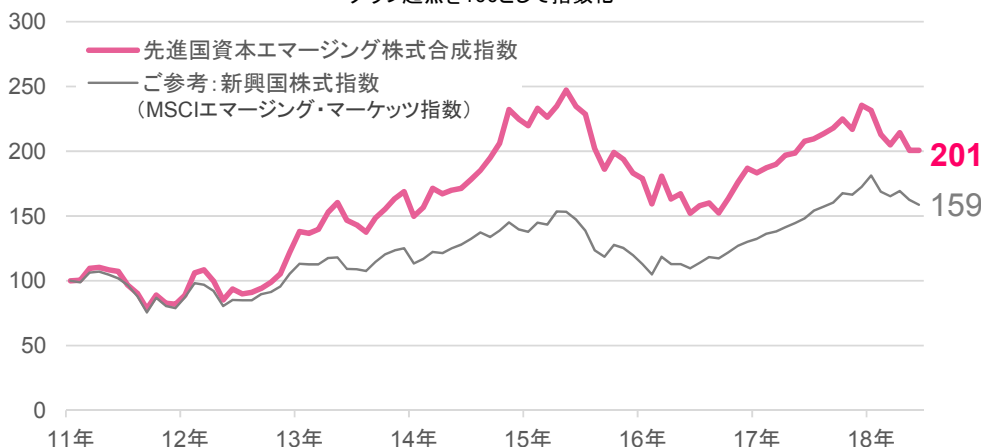
新興国リード・  
ストック戦略

## ご 参 考



### 新興国リード・ストック戦略の参考パフォーマンス

＜参考指数の推移＞  
(2011年1月末～2018年6月末)  
グラフ起点を100として指数化



■上記指数はあくまで参考であり、当ファンドならびに当ファンドが投資する各投資信託証券のベンチマークではありません。  
※株価指数は、いずれも配当込みです。また、米ドルベースの指数については、日興アセットマネジメントが円換算しています。  
■先進国資本エマージング株式合成指数:MSCIエマージング・マーケット指数構成銘柄のうち、MSCIワールド指数に採用されている企業の出資比率が3%以上の銘柄を抽出し、当該出資比率に比例した構成比率をもとに日興アセットマネジメントが算出した合成指数です。なお、構成比率の算出にあたっては、各銘柄の売買代金に基づく制約を加え、流動性に配慮した調整を行なっています。

**銘柄例① ユニリーバ・インドネシア**  
(家庭用品・パーソナル用品)

**世界最大級のブランド力が強み**

インドネシア × イギリス/オランダ

イギリス\*のユニリーバの子会社。  
\*イギリスとオランダの合弁会社  
石鹸、洗剤、パーソナルケア用品  
および加工食品を製造、販売。  
アイスクリーム、食用油、肥料など  
の製造も手掛ける。

**銘柄例② ネスレ・インド**  
(食品・飲料・タバコ)

**低価格・高栄養食品を提供**

インド × スイス

スイスのネスレの子会社。  
コーヒー用クリーム、粉ミルク、ギー  
(乳脂肪製品)、コンデンスミルク、  
離乳食の他、Nescafeなどの飲料  
も手掛ける。Maggiブランドで麺類、  
スープ、ソースの製造にも注力。

**銘柄例③ バンコ・サンタンデル・チレ**  
(銀行)

**チリ最大級の民間銀行**

チリ × スペイン

スペインの商業銀行大手、サンタ  
ンデル銀行が出資。  
預金業務、リテールおよび商業銀  
行サービスに従事し、個人・法人  
向けローン、クレジットカードなど、  
関連サービスを幅広く提供。

※ 2018年6月末時点における「先進国資本エマージング株式マザーファンド」組入上位10銘柄よりご紹介しています。  
※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ファンドの特色

- 1** メガトレンド 社会の構造変化を捉える2つの株式テーマに着目し、収益の獲得をめざします。
- 2** 2つの株式テーマに債券を加え、インカム収益の獲得をめざします。
- 3** 各戦略に基づく投資は、日興アセットマネジメントが厳選したファンド（投資信託証券）を通じて行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。

なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および債券などを実質的な投資対象としますので、株式および債券などの価格の下落や、株式および債券などの発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

- 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
- 【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】【未上場株式などの組入リスク】
- 【延長リスク／期限前償還リスク】【期限前償還に伴う再投資リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2028年1月25日まで(2018年2月1日設定)
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### ＜ご購入時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%</u> (税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.809%(税抜1.675%)以内を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>当ファンドの信託報酬率:純資産総額1,000億円以下の部分..... 年率1.6632%(税抜1.54%) 純資産総額1,000億円超の部分..... 年率1.4472%(税抜1.34%)</li> <li>投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率:年率0.1458%(税抜0.135%)以内</li> </ul> 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメントアジア リミテッド(投資助言) ピムコ ジャパン リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(資料作成日現在、50音順)

